

「医療九条の会・北海道」オンライン学習会

人口比で新規コロナ感染者数がトップ、全国平均の約3倍となっている沖縄。その底流には「沖縄」と「日本」の間の歴史的特殊性が存在する。卒後医師研修プログラム責任者として心豊かな若い医師を養成、対コロナ政策にも積極的に発言している徳田安春先生が、コロナがあぶりだした世界規模の社会矛盾を「沖縄」という一地方の特殊性から捉え直し、人間が生きる社会のあるべき姿を語る。

2021. **10.9** Sat

15:00—17:00

会場 北海道民医連会館3F大会議室
札幌市北14条西3丁目1-12

Zoom参加は無料
会場での参加費500円
(定員15名)



コロナ禍の今、 沖縄から世界を見る

徳田 安春先生

【講師略歴】

群星(むりぶし)沖縄臨床研修センター長。筑波大学客員教授。
「保健医療2035」メンバー。日本プライマリケア連合学会理事。
日本病院総合診療医学会理事。
JAMEP理事。
日本プライマリケア連合学会英文誌Journal of General and Family Medicine編集委員長(Editor-in-Chief)。
1988年琉球大学医学部医学科卒業
2003年沖縄県立中部病院内科副部長
2005年米国ハーバード大学大学院公衆衛生修士号取得
2008年聖路加国際病院一般内科医長
2009年筑波大学大学院医療医学系教授(筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター水戸協同病院)
2014年JCHO本部顧問
2017年より現職



特別発言 香山リカさん(作家、精神科医)

視聴(Zoom)あるいは会場参加を希望される方は、下記のURLにアクセスして、申込フォームに必要事項を記入のうえ送信して下さい。後日視聴URLを送ります。

なお、事前に「質問」がある場合も下記のURLまでお願いします。

<http://ur2.link/RN3q>

